



国土交通省道路局長 様

安事第680号

平成19年5月10日

安土町長 津村 孝司



中期的な計画の作成にあたっての意見について (回 答)

平成19年4月2日付け国道企第114号でもって依頼のありました標記のことについて下記のとおり回答します。

記

(1) 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

住民生活と経済活動を支える「安全で住み良い快適で便利な交通網」の実現のため、高規格幹線道路である第二名神高速道路の早期整備、地域の交流と連携を進めるための地域高規格道路である名神名阪連絡道路および緊急性の高い国道の整備を早急に取り組まれない。

(2) 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと。

名神高速道路の有効活用や地域生活の充実、地域経済の活性化を推進するため、建設・管理コストの削減が可能なスマートインターチェンジの導入を図られたい。

(3) その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関すること。

- ① 地方における道路整備を着実に推進できるよう税源移譲も含め、道路整備のための財源確保を図られたい。
- ② 安心・安全で快適な生活環境づくりを目指す道路整備促進するため、歩道空間のバリアフリー化の整備、電線類の地中化等による交通安全施設整備、地球温暖化防止の一環としての保水性舗装（ヒートアイランド対策）等の道路環境対策の促進に努められたい。